



シリーズ!!

# 我が家の防災対策

今回の『我が家の防災対策』は、富士河口湖町消防団船津分団の研修の様子を紹介します。

船津分団は、3月7日東京都にある「消防庁本所防災館」へ団員研修を行なってきました。この施設は、最新の技術を取り入れた装置により、地震や風水害などが体験できる施設として、平成7年に建設されたものです。

大規模地震の揺れの体験、消火器を使用した初期消火訓練、火災時における煙の中の避難体験、応急救護訓練、直下型地震をテーマにした映画などを通して、さまざまな災害を体験しました。

この研修に参加した船津分団の皆さんは、「実際に体験することにより、さらに防災意識が高まった。火災時だけでなく、地震やその他災害時には、私たち消防団は地域の皆さんの生命財産を守るべく出動するため、より一層日頃の訓練に励みたい。また、多くの皆さんにこのような施設で災害を体験し、家庭での防災対策に役立てて欲しい。」と語っていました。



消防庁本所防災館での体験の様子



大地震が起こった地域での様子を語る住民の話は大変貴重なものですが、例えば震度6の揺れがどんな感じなのか、どんな状態なのかは体験しないとなかなか検討がつかないものです。

このような防災館は、都内に3箇所あり、地震や火災・暴風雨の擬似体験ができるほか、地震、災害等の歴史やメカニズムが学べるコーナーなど、防災に関する資料がたくさんあるので必然的に防災への意識が高まります。子どもにもわかりやすいので、休日に家族で見学に行き、自分の家などを想定しながら防災計画を話し合うとよいでしょう。

また、山梨県には「起震車」という地震が体験できる車があります。移動が可能ですので、地域の集まりの場所へ伺うことができます。

依頼を希望される際には、役場管理課防災係まで連絡下さい。

家庭や地域における「防災対策」を教えてください。小さなことでも大変参考になります。ご協力をお願いします。

問合せ...管理課 防災係 72-6013

## 平成17年度 富士河口湖町消防団役員紹介

団長 小佐野昭二(船津)

副団長 渡辺 藤三(小立) 高山 昂士(河口) 流石 修身(勝山) 三浦 由一(長浜)



平成17年度富士河口湖町消防団出初式

(船津分団)(定数45人)分団長 外川 恭一

副分団長 渡辺 英之

(小立分団)(定数45人)分団長 渡辺洲美雄

副分団長 渡辺 満夫

(大石分団)(定数35人)分団長 半田 幸久

副分団長 梶原 栄治

(河口分団)(定数40人)分団長 外川 満

副分団長 駒井 俊策

(勝山分団)(定数45人)分団長 佐野 喜市

副分団長 小佐野文夫

(足和田分団)(定数80人)分団長 渡辺 勝人

副分団長 三浦 政昭